

## は し が き

1. 本報告書は、平成14年度に当研究所が行った「イラン国内政治プロセスと対外政策」研究会の研究成果をまとめたものである。
2. 本研究は、現下のイラン情勢に関して多角的に分析を行ったものだが、特に日イラン関係、米イラン関係の考察を踏まえ、今後の日本の対イラン政策策定に資する内容となるよう努力した。この目的のため、各委員の各論的な論文に加え、共通テーマを設けた委員間の自由討論を行い、そこにおける総括的な議論や指摘も掲載した。
3. 本研究の実施に当たっては、以下の委員を中心に研究会合を重ねた。

主 査：	孫崎 享	防衛大学校教授
委 員：	大西 圃	日本貿易振興会海外調査部調査役
	小林 伸一	外務省中東アフリカ局中東第2課事務官
	酒井 啓子	日本貿易振興会アジア経済研究所主任研究員
	高橋 和夫	放送大学助教授
	中西 久枝	名古屋大学大学院国際開発研究科教授
	松永 泰行	日本大学専任講師
委員兼幹事：	松本 弘	日本国際問題研究所主任研究員
担当助手：	真下 陽子	日本国際問題研究所研究助手
4. ここに表明されている見解は全て個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではないが、近年の大きな国際変化と今後の展望を考察する上で貴重な資料となりうることを期待する。
5. 最後に、本研究に終始積極的に取り組み、本報告書の作成にご尽力いただいた研究主査および委員、ならびにその過程でご協力いただいた外務省中東アフリカ局中東2課、国際情報局他関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表すものである。

平成14年10月

財団法人 日本国際問題研究所  
理事長 小和田 恆